

【情 報 提 供】
大洲河川国道事務所

令和7年度 肱川総合水防演習

毎年のように広域かつ甚大な浸水被害が相次いで発生するなど、気候変動による水害リスクの高まりに対応するための地域防災力の更なる向上が求められています。「防災知識の普及と防災意識の向上」及び「災害対処能力の更なる向上」を図るとともに、市町村や県、国、防災機関及び流域住民の方々との連携強化を図ることを目的とした令和7年度肱川総合水防演習を実施しました。

- 開催日時 令和7年5月18日（日） 9：00～11：00（イベントブースは12:00まで）
- 実施場所 肱川右岸河川敷（愛媛県大洲市若宮）
- 実施した演習 情報伝達訓練、水防活動（水防工法）、被災者救出・救護訓練、被災者搬送訓練、被災状況調査訓練、ライフライン復旧訓練、道路啓開訓練、救援物資輸送訓練
- 参加機関 52機関（演習参加機関及び出展機関（重複除く））
- 参加者 中野洋昌国土交通大臣、中村時広愛媛県知事、二宮隆久大洲市長、長谷川淳二衆議院議員、石井智恵衆議院議員、山本順三参議院議員をはじめとする約700人

開会式

開会式では、豊口四国地方整備局長より開会の辞、二宮大洲市長（演習本部長）への人員報告がありました。また、中野国土交通大臣、中村愛媛県知事、来賓国会議員による挨拶を頂きました。



中野 洋昌 国土交通大臣



中村 時広 愛媛県知事



二宮 隆久 大洲市長
(演習本部長)



矢野 正祥 大洲市消防団長
(指揮者)



豊口 佳之 四国地整局長



長谷川 淳二 衆議院議員
来賓挨拶



石井 智恵 衆議院議員
来賓挨拶



山本 順三 参議院議員
来賓挨拶

実施した主な演習

水防工法訓練



自主防・大洲農高生による
改良積み土のう工Ⅱ型



大洲市消防団による
釜段工



西予市消防団による
改良積み土のう工



伊予市消防団による
積み土のう工



砥部町・内子町消防団
による積み土のう工

関係機関・地域との連携による総合的な訓練



情報伝達訓練
(ホットライン)



孤立者救助・搬送訓練
(陸自)



道路啓開訓練
(建設業協会)



被災者救出訓練
(陸自・県警・消防)



避難訓練
(大洲市立喜多小学校)

閉会式

閉会式では、橋本愛媛県土木部長より講評を、二宮大洲市長より開催地代表挨拶を頂きました。また、藤本河川部長より閉会の辞がありました。



橋本 博史 愛媛県土木部長



藤本 幸司 河川部長



訓練参加者整列

展示・PRブース等

○一般来場者参加型によるロープワーク体験や遠隔操縦BH操作体験、降雨体験等を実施しました。
※愛媛新聞社、ケーブルネットワーク西瀬戸、テレビ愛媛、建通新聞社、NHK松山放送局、公明新聞より取材有り
(5/18 NHK、テレビ愛媛、あいテレビ、南海放送で報道)



ロープワーク体験



遠隔操縦BH操縦体験



降雨体験

平成30年7月豪雨により甚大な被害を受けた肱川で緊急的な治水対策（ハード・ソフト対策）を実施

①緊急的対応(令和2年5月完了) 平成30年7月洪水の被害を軽減

河川(国・県)

- ・ 予備費による樹木伐採、河道掘削
- ・ 野村ダム下流など土砂堆積部河道掘削
- ・ 暫定堤嵩上げ(+0.7m)

野村ダム

- ・ 事前放流(600万m³を確保)
- ・ 洪水貯留準備水位の更なる低下

野村ダム、鹿野川ダムの放流警報

- ・ 新たな放流警報手法(試行開始)

<令和元年~>

鹿野川ダム改造により増大した容量の有効活用

- ・ 野村ダム操作規則変更
- ・ 鹿野川ダム操作規則変更

②概ね5年後(令和6年6月1日完了) 平成30年7月洪水を越水させない

下流河川(国・県)

- ・ 河川激甚災害対策特別緊急事業による堤防整備、暫定堤防の嵩上げなどの対策を実施

野村ダム下流など

- ・ 河道掘削などの対策を実施

治水協定

- ・ 洪水調節可能容量(761万m³を確保)

激特事業による流下能力向上により可能となるダム操作規則の変更

- ・ 野村ダム操作規則変更
- ・ 鹿野川ダム操作規則変更

③概ね10年後 平成30年7月洪水と同規模を安全に流下させる

更なる河川整備等(国・県)

山鳥坂ダム完成
2032年度

野村ダム改良完成
2027年度

令和6年6月1日よりダム操作ルールが変わります

平成30年7月豪雨を契機とする肱川緊急治水対策（つなごう肱川プロジェクト）により進めていた築堤工事や河道掘削の進捗等により、肱川へ流すことが出来る水量が増えたことから、「野村ダム・鹿野川ダムの操作ルール」を変更するとともに「氾濫危険水位等の基準水位」、「避難情報発令基準等」を見直します。

川の状態

…河川整備が進み、肱川へ流すことが出来る水量が増えたため…

河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）
 ■事業期間 平成30年度～令和5年度
 ■主な整備内容
 国管理区間：15地区で築堤を実施、整備延長6.9km
 県管理区間：12工区で築堤を実施、整備延長14.6km



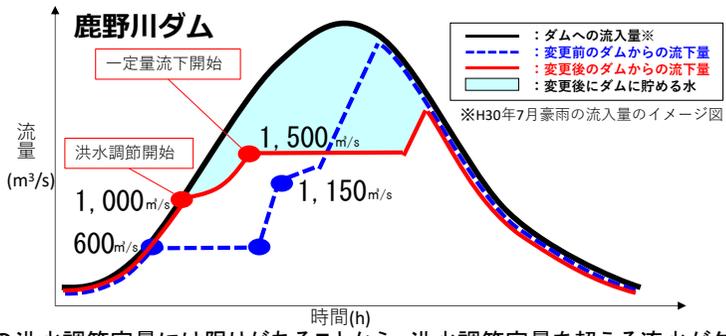
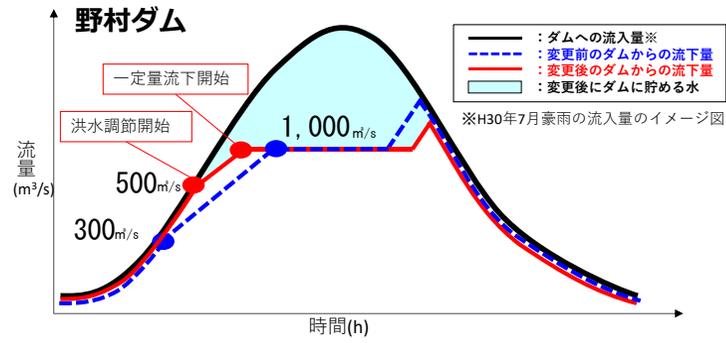
※河川整備に関するお問い合わせ先

大洲河川国道事務所 工務第一課
TEL 0893-24-5188

愛媛県大洲土木事務所 河川港湾課
TEL 0893-24-5121

ダムの運用 野村ダム・鹿野川ダムの操作ルール変更

◆肱川緊急治水対策により進めていた築堤工事や河道掘削等が進捗し、洪水時にダムから肱川へ流下させる水量が増えたことから、「野村ダム」及び「鹿野川ダム」の操作ルールを変更します。
 ◆ダムへの流入量が少ない時は流水を貯めず、流入量が増加する時に貯めることで、ダムからの最大の流下量が小さくなります。



◆ダムの洪水調節容量には限りがあることから、洪水調節容量を超える流水がダムに流入した場合は、異常洪水時防災操作（緊急放流）を行う可能性があります。

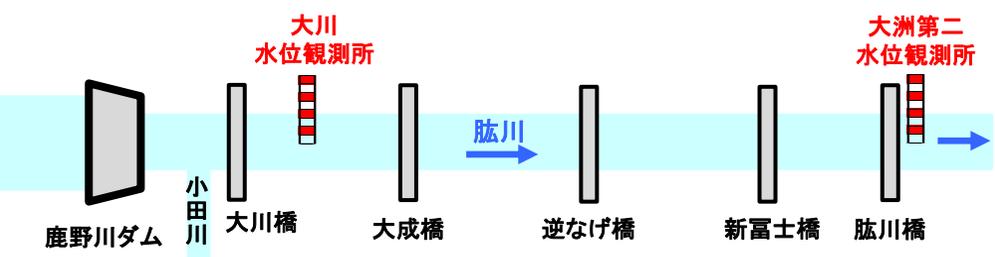
※ダムに関するお問い合わせ先

【野村ダム】
 肱川ダム統合管理事務所 管理課
 TEL 0894-72-1211

【鹿野川ダム】
 肱川ダム統合管理事務所 鹿野川ダム管理支所
 TEL 0893-34-2350

避難行動の目安となる基準水位の変更

築堤工事の進捗等により、**避難行動の目安となる各種基準水位を見直します。**



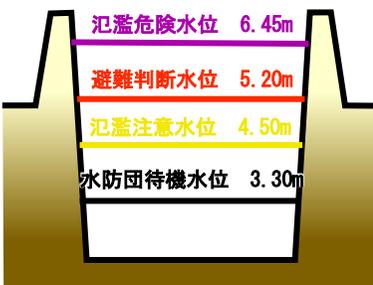
【大洲第二水位観測所】(肱川左岸18k700地点)

河川基準水位	現行	⇒	変更後
氾濫危険水位 (避難指示)	5.80m	+1.30m	7.10m
避難判断水位 (高齢者等避難)	4.80m	+0.60m	5.40m
氾濫注意水位	3.80m	変更なし	3.80m
水防団待機水位	2.80m	変更なし	2.80m



【大川水位観測所】(肱川左岸34k800地点)

河川基準水位	現行	⇒	変更後
氾濫危険水位 (避難指示)	5.65m	+0.80m	6.45m
避難判断水位 (高齢者等避難)	4.90m	+0.30m	5.20m
氾濫注意水位	4.50m	変更なし	4.50m
水防団待機水位	3.30m	変更なし	3.30m



※基準水位に関するお問い合わせ先

【大洲第二水位観測所】
大洲河川国道事務所 工務第一課
TEL 0893-24-5188

【大川水位観測所】
愛媛県大洲土木事務所 河川港湾課
TEL 0893-24-5121

避難情報発令基準の変更

地区	基準地点	発令種類	基準
肱川	鹿野川ダム 放流量	高齢者等避難	1,500 m ³ /sの放流が予測されるとき
		避難指示	1,500 m ³ /sの放流が開始され、その後緊急放流が予測されるとき
		緊急安全確保	災害が発生又は切迫している場合
大川	大川 水位観測所	高齢者等避難	5.20m
		避難指示	6.45m
		緊急安全確保	災害が発生又は切迫している場合
木米越郎平	大洲第二 水位観測所	高齢者等避難	5.40m
		避難指示	7.10m
東大洲松ヶ花賀八多喜伊州子多白豊大上老松長浜浦	大洲第二 水位観測所	緊急安全確保	災害が発生又は切迫している場合
		避難指示	7.10m
新谷	新谷 水位観測所	高齢者等避難	2.65m
		避難指示	3.15m
		緊急安全確保	災害が発生又は切迫している場合

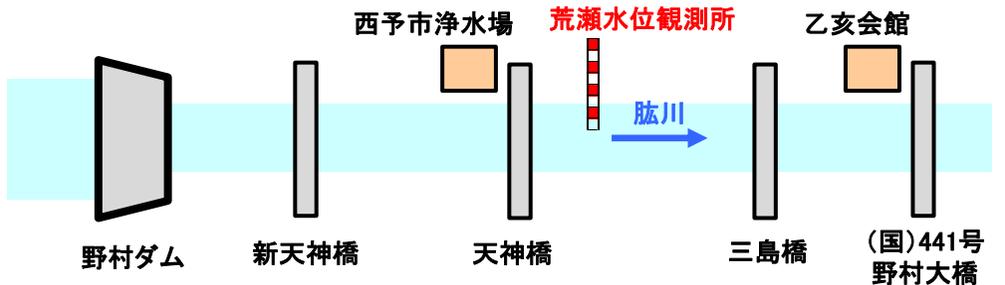
※上記の基準にかかわらず、鹿野川ダムにおいて緊急放流が実施されるなど、水位の急な上昇が予測されるときは、避難指示を発令する。

※避難情報発令基準に関するお問い合わせ先

大洲市 危機管理課 TEL 0893-24-1742

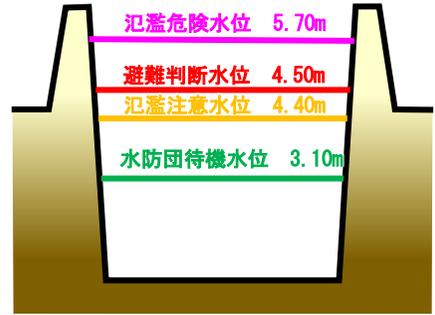
避難行動の目安となる基準水位の変更

野村ダム・鹿野川ダムの操作ルール変更に併せ、緊急的な河道掘削による流下能力の再評価や地域の水防活動実績等を踏まえ、**避難行動の目安となる各種基準水位を見直します。**
 ※野村大橋の架け替えを含む河川改修工事完了後、再度基準水位の見直しを予定しています。



野村地区 荒瀬水位観測所 (肱川左岸5K900地点)

河川基準水位	現行	⇒	変更後
氾濫危険水位	5.00m	+0.70m	5.70m
避難判断水位	4.00m	+0.50m	4.50m
氾濫注意水位	3.70m	+0.70m	4.40m
水防団待機水位	2.60m	+0.50m	3.10m



※基準水位に関するお問い合わせ先

愛媛県南予地方局建設部西予土木事務所
TEL 0894-62-1331

愛媛県土木部河川港湾局河川課
TEL 089-912-2670

野村地区における洪水・土砂災害タイムライン(防災行動計画)の変更

避難情報発令基準
 ※**ダムの放流情報、気象情報、荒瀬の水位のいずれかを満たした際に、避難情報を発令します。**

気象情報		荒瀬水位	避難情報
危険度分布			
・大雨警報 (土砂災害、浸水害の危険度分布) ・洪水警報の危険度分布	警戒	氾濫注意水位 4.40m超	高齢者等避難 を発令します。
	危険	氾濫危険水位 5.70m超	避難指示 を発令します。
災害切迫	・大雨特別警報	氾濫発生	緊急安全確保 を発令します。

西予市防災行政無線からのダムの放流情報について

「ダムの放流、毎秒300トン」が聞こえたら、気象情報等に注意しつつ「**高齢者等避難**」の準備をしてください。

「ダムの放流、毎秒500トン」が聞こえたら、気象情報等に注意しつつ「**避難**」の準備をしてください。

「ダムの放流、毎秒600トン超」の放送以降は常に気象情報等に注意するとともに、**緊急放流情報**は特に注意し、早めの「**避難**」を心がけてください。
※緊急放流が開始された際は、直ちに「緊急安全確保」を!

※防災行動計画に関するお問い合わせ先

西予市 危機管理課地域防災係 TEL 0894-62-6491

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

つながる肱川
～上流から下流まで、未来へ子どもたちへ～

令和 7 年 3 月 3 1 日
大洲河川国道事務所
大洲市
西予市
内子町



国土交通省



大洲市



西予市



内子町

全国初！肱川流域でデジタル水防の試行開始

団員一人ひとりにワンタッチ情報提供

～水防活動に従事されている水防団員と一緒に開発しました～

近年、気候変動の影響で豪雨が激甚化・頻発化しており、水害から地域を守る水防活動の重要性が高まっています。悪天候のもとで水防活動を迅速に実施するためには、気象情報や河川情報、避難情報などの各種情報を水防団員同士で効率的に伝達・共有することが有効です。

このため、一般財団法人河川情報センターの協力のもと、大洲市・西予市・内子町の各水防団と大洲河川国道事務所が連携し、水防活動時の効率的な情報伝達・共有を支援するツール「デジタル水防」を開発しました。デジタル水防は、現場で活躍される水防団員が求める各種情報をワンタッチで提供するとともに、水防団員同士の効率的な情報伝達・共有と安全管理を可能とするものであり、全国に先駆けて、肱川流域の水防団による実証実験（試行）を行います。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

《問い合わせ先》

【国】 デジタル水防（全般）に関する問合せ

国土交通省大洲河川国道事務所（TEL:0893-24-5185）

◎副所長 高島 愛典（タカシマ ヤスノリ）（内 204）

事業対策官 新川 和之（シンカワ カズユキ）（内 208）

【市・町】 デジタル水防の活用に関する問合せ

（大洲市水防団）大洲市総務部（TEL:0893-24-2111）

危機管理課長 矢野 晃（ヤノ アキラ）

◎専門員兼係長 川口 裕二（カワグチ ユウジ）

（西予市水防団）西予市消防本部（TEL:0894-62-4700）

消防総務課長 山本 清久（ヤマモト キヨヒサ）

◎消防団係長 土居 弘樹（ドイ ヒロキ）

（内子町水防団）内子町総務課（TEL:0893-44-2111）

総務課長 黒澤 賢治（クロサワ ケンジ）

◎危機管理班長 宮田 哲郎（ミヤタ テツロウ）

◎：主な問い合わせ先

デジタル水防の導入により期待できる効果

水防活動時の情報共有に関する主な問題・懸念点

- 参集・活動時の情報伝達手段に電話・無線を用いている団が多く、各種の情報共有に苦慮されている。
- 水防活動に役立つ情報は、気象情報や洪水に関する情報、避難に関する情報など多岐に渡るが、それらの情報を取得するためのウェブサイトが多すぎてわかりにくく、地域の情報を閲覧するのに手間がかかる。
- 電話や無線などの音声だけでは現場状況が伝わらない。
- 現場にいる団員の正確な居場所が分からない。

水防活動の初動の遅れに繋がる

デジタル水防(仮称)導入により期待できる効果

- ① **水防活動に必要な情報の一斉共有**
リッチメニューを活用することで、各種情報の共有を団員全員で可能
- ② **洪水時に役立つ情報がワンタッチで取得可能**
地域の河川水位や河川ライブカメラ情報、気象情報、避難情報をワンプッシュで取得
- ③ **現場の災害状況の画像や動画をその場で地図上に登録**
音声による情報共有や位置情報が不明な写真による現場情報のやりとりを地図上で団員同志で共有
- ④ **団員の居場所やコメントを地図上で共有**
団員がどこに今いるのかを地図上で共有することで、効率的な水防活動の実施と団員の安否確認が可能

水防活動の初動の迅速化と
的確な情報共有に期待

デジタル水防(仮称)のイメージ画面

地域に特化した洪水時に役立つ情報がワンタッチで取得可能

地図上で現場状況を共有可能

リッチメニュー

まずはここから
名前登録

河川情報	避難情報	気象情報	
水防マップ	位置情報送信	写真・動画送信	コメント送信

現地写真

団員の居場所